

北海道におけるダイコン新品種『喜太一』の 特性と栽培のポイント

雪印種苗(株) 中央研究農場

安 達 英 人

ダイコンは冷涼な気候を好むため、7～9月の東京、大阪市場では、その80%以上が高冷地、東北、北海道から出荷されています。

最近、特に北海道、東北の生産量が増加しており、収量、品質とも安定した品種が望まれています。

このたび、弊社より極晩抽性で、揃い性と品質が優れる冷涼地向け春ダイコン『喜太一』（試作系統名：S B 7015）を新発表しましたので、ご紹介致します。

1 『喜太一』の特性(表1参照)

～極晩抽性で、揃い性と品質が優れる
青青春ダイコン～

① 安定した極晩抽性

市販品種の中でも最も抽台の遅いグループに入るため、安心して栽培できます。

4月上旬からのトンネル栽培、5月上旬からのマルチ栽培でも抽台は遅く安定しています。

② 根形、根長の揃いが良い

低温時でも根の伸びが良く、トンネル栽培で35cm、マルチ栽培で

38cm程度に良く揃い、極端な長根にはなりません。根形も尻つまりの良い総太り型に良く揃います。

③ ひげ根が細く少ない

低温時でもひげ根の発生は少ないため、『ひげ根取り』の作業が軽減できます。

④ 草勢がおとなしい(写真1, 2)

草姿は立性の濃緑中葉で、草勢は葉勝ちにな

表1 『喜太一』の生育特性

(雪印種苗・中央研究農場)

品 種 名	根長 (cm)	根径 (cm)	根重 (kg)	根形 (9～1)	尻つまり (9～1)	側根 (9～1)	青首 (9～1)	す入り (9～1)	抽苔率 (%)
《平成7年5月10日播種 7月6日調査(57日目) マルチ栽培》									
喜太一	35.3	7.3	1.20	4.0	4.0	7.5	3.5	6.0	0
品 種 A	34.7	7.4	1.24	4.0	4.0	4.5	5.5	7.0	0
品 種 B	37.2	7.1	1.19	3.5	3.5	6.0	6.5	6.5	0
《平成6年5月11日播種 7月8日調査(58日目) マルチ栽培》									
喜太一	39.8	7.3	1.33	4.5	4.5	7.0	4.5	6.0	0
品 種 A	37.7	7.3	1.27	5.0	4.5	5.0	6.5	7.0	0
品 種 B	39.9	7.3	1.12	4.0	4.0	6.0	7.0	6.5	0
《平成7年5月29日播種 7月24日調査(56日目) マルチ栽培》									
喜太一	40.3	7.6	1.51	4	4	7	4	6	0
品 種 A	40.7	6.7	1.34	3	3	5	6	6	0
品 種 B	39.5	6.9	1.23	3	3	6	6	6	0
《平成7年6月9日播種 8月2日調査(54日目) マルチ栽培》									
喜太一	38.6	7.1	1.30	3.0	3.5	7.0	4.0	6.0	0
品 種 A	40.5	7.3	1.46	3.5	3.0	4.0	6.0	6.5	0
品 種 B	39.1	6.9	1.23	3.0	2.5	6.0	6.0	5.5	0
《平成7年6月12日播種 8月6日調査(55日目) 露地栽培》									
喜太一	37.0	8.2	1.32	4	4	5	4	6	0
品 種 A	36.7	8.4	1.59	4	4	4	4	6	0

＜評点＞ 根形：9(総太)～1(円錐尖) 尻つまり：9(極良)～1(極不良) 側根：9(無細)～1(多大)
青首：9(極濃緑)～1(白) す入り：9(無)～1(甚多)



写真1 5月10日まき、収穫3日前、抽根は10cm程度



写真2 同上、葉は濃緑の中葉、葉長40cm
葉重300g くらいの生育がバランスよく、良品が
生産できる

りにくく、おとなしいため、管理作業が容易です。

⑤ 曲がり根が少ない

根の肥大はやや遅く、収穫直前に抽根してくるために曲がり根は少なくなります。

⑥ す入りが遅く、内部障害に強い

す入りは安定して遅く、2L出荷でも問題になりません。

高温期の出荷でも、赤芯症、黒芯症、空洞症の発生は極少なく、安心して栽培できます。

⑦ 製品外観が優れる

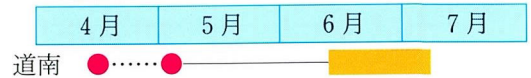
青首色は淡緑色ですが、肌つやが良く、毛穴が小さいので外観が優れます。

2 『喜太一』の適作型と栽培のポイント

『喜太一』は全国のハウス、トンネル、マルチ、

露地栽培に適しますが、以下に、北海道の代表的な作型について紹介致します。

1) 《道南・道央》トンネル栽培 4月中旬～5月上旬播き



①播種と栽植密度

条間30cm×株間30cmの3～4条播き栽培が適します(マルチ規格3330N, 3340N; 5,200～6,800本/10a)。

②施肥

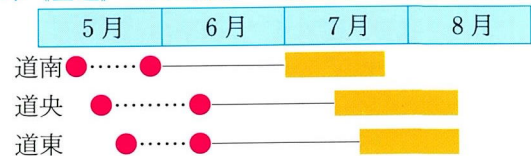
10a当たり成分量で窒素8～10kg, リン酸20kg, カリ8～10kgを標準とし、全面施肥とします。

③管理

播種～間引き時までは十分保温し、生育中期には外気を入れ『ならし』を行い、播種後1か月ころにはビニルを除去し、外葉の伸び過ぎを防ぎます。

『喜太一』は抽根が遅いため、10cm程度抽根するのを待って、2Lサイズで収穫します。

2) 《全道》マルチ栽培 5月上旬～6月上旬播き



①播種と栽植密度

5月中旬が最適播種期です。5月上旬播きは短根になりやすいので、べたがけの併用が有効です。

転作畑の早播きではひげ根が大きくなりやすいので、高畦栽培が有効です。

条間45cm×株間27cmの2条播き栽培が適します。

マルチ規格9227N (6,200本/10a)。

②施肥

10a当たり成分量で窒素5～8kg, リン酸20kg, カリ5～8kgを標準としますが、播種が遅

くなるほど施肥は少なめにします。

③管理

萎黄病に対しては比較的強いのですが、激発地での作付けには、土壌消毒を行う必要があります。

生育日数は57～60日程度で、収穫適期も比較的短いため、抽根の程度をみながら収穫遅れにならないように注意します。

④8月どりマルチ栽培の注意点

選播きは尻流れになりやすいので、6月上旬播きまでとします(写真3)。

生理障害対策としてFTEを4～6 kg/10a施用します。

軟腐病、横縞症が発生しやすい作型なので、防除を徹底します。

多肥栽培、水分過多、収穫遅れにより肩部の裂根が発生することがあります。

生育日数は55～58日程度で、収穫適期が短いので、2Lサイズで収穫を終わるようにします。

表2 『喜太一』の施肥例

播種期	作型	肥料名、施用量	成分(N-P-K/10a)	備考
4月中旬	トンネル栽培 (6,000本/10a)	NS262 80kg、過石 40kg	9.6-20.0-9.6	硝酸態窒素を含み、低温期に有効
		S886 120kg	9.6-21.6-7.2	
5月中旬	マルチ栽培 (6,200本/10a)	S886 100kg	8.0-18.0-6.0	
		S413 60kg、過石 60kg	8.4-17.4-7.8	
6月上旬	マルチ栽培 (6,200本/10a)	S586 120kg	6.0-21.6-7.2	地力に合わせて減肥
		S413 40kg、過石 70kg	5.6-17.0-5.2	
6月上旬	露地栽培 (5,600本/10a)	S586 100kg	5.0-18.0-6.0	
		S200 40kg、過石 50kg	4.8-17.0-4.0	

*高畦栽培は2割減肥、泥炭地は2～3割減肥。
*地力、栽植密度により増減する。
*6月播きにはFTE 4～6 kg/10aを施用する。

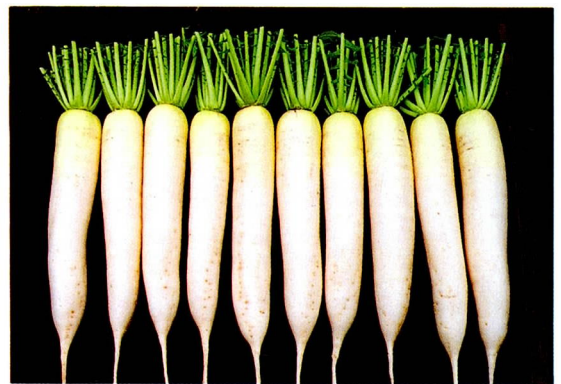
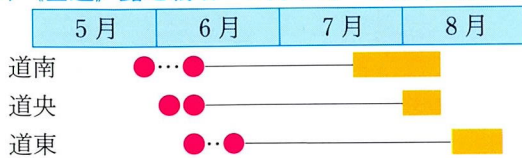


写真3 6月10日まき高畦マルチ栽培 (遅まきの限界)

3) 《全道》露地栽培 5月下旬～6月中旬播き



①播種と栽植密度

6月上旬が播種適期ですが、べたがけを利用するか、高畦栽培にすると根長が確保できます。畦間60cm×株間27～30cm栽培が適します(5,600～6,200本/10a)。

②施肥

10a当たり成分量で窒素5 kg,リン酸20kg,カリ5 kgを標準としますが、播種が遅くなるほど施肥は少なめにします。

③管理

生育日数は58～60日程度です。

軟腐病、横縞症が発生する作型なので、排水の良い圃場を選定し、防除を徹底します。

高温期に収穫となるので、施肥量、栽植密度、土壌水分等を考慮し、収穫遅れにならないよう注意します。

3 むすび

北海道、東北のダイコン栽培は大面積の作付けが可能で、共選施設も大型化しています。

『喜太一』はひげ取り、選別作業の省力化が期待でき、収量、品質ともに安定した品種です。

『喜太一』は平成8年より本格的な作付けが実施されますので、品種の特性を良く理解していただき、品質の良いものを獲るようにしていただきたいと思います。